

第 5 学 年 0 0 0 0 学 習 指 導 案

1 単元名 「いがいといいぞ，〇〇のまち」 ～知ってる？〇〇の農業～

2 指導観

このような子どもたちだから

- 子どもたちの住んでいる本地域は、宇美川，須恵川，綿打川の3本の川が中心に流れ，福北豊線，鹿児島本線，新幹線が校区を縦断している。福岡空港も隣接し，近代的な工場や伝統工業など昔からの工場もあり，にぎやかで様々な産業をもつ地域である。子どもたちは，前小単元の「知ってる？〇〇の工業」において，地域の工場を取り上げ調べ活動を行う中で，それぞれの工場が仕事に誇りを持ち，環境面で工夫をし，地域との共存をめざしていることを学んでいる。
- 問題解決の面では，自分の課題をもち，課題別にグループに分かれて調べ活動を行い，まとめたことを発表したり，自分ができることを決めて取り組んだりする学習を経験してきている。また，課題を解決するために自分たちで計画を立てたり，見通しをもって取り組んだりする追究活動も行ってきた。しかし，自分たちの取組や考えをもっと高めるための交流活動において，うまく自分の考えを述べたり，友だちと比べて考えたりすることに対してやや不安をもっている。
- 人と関わる力の面では，地域の人と出会う活動をくり返し行っている。人と関わるよさを感じ，人の思いや願いを知ることで，人と関わる楽しさを味わい，意欲的に学習に取り組んできている。また，友だちといっしょに活動することや地域の人にいろいろなことを教えていただくことに喜びを感じている。自分の成長に気付いたり，学習の達成感を味わうことで自尊感情は高まってきている。

このような学習で

- 〇〇校区において，農業は昔から行われており，校区にあるスーパーなどにも地場野菜として販売されており，特に水耕栽培されたねぎは全国に出荷されるほど有名である。しかし，子どもたちの実態としては，スーパーで販売されていることに気付いていない子どもが多く，〇〇の農業の歴史や実態はほとんど知らないが，〇〇の工業以外の産業のことをもっと知りたいという気持ちは高まってきている。
- そこで，この〇〇の農業を教材化することで，次のような学習が期待できる。
- 今まで見過ごしていた地域の田畑に目を向けることにより，〇〇のまちの農業と農業に携わる人に関心をもち，進んで学習に取り組み，地域に愛着をもつことができる。
 - 自然が多いとはいえない〇〇の地域の中で，昔から農業が営まれてきたこと，今も続いていることや特徴のある栽培方法などから，自分の課題をもち，課題解決のために追究していく学習を展開していくことで，問題解決力を高めることができる。
 - 農業に携わる人と関わることで，農業に対する思いや願いにふれ，友だちといっしょに追究活動をし，考えや取組を交流することで，地域や友だち，自分に対する見方・考え方を変容させることができる。

このような指導を

(1) 問題解決力を育てるために

- 校区のフィールドワークを行った感想や疑問を交流し、地域で農業に携わる人の話をきくことから「〇〇の農業はどうして100年以上も続いてきたのだろうか。」という共通課題をつくる。
- 課題解決するために、生産者・消費者・販売者・農業の歴史の面から、自分が調べてみたい課題別にグループを作る。また、一人一人に自分の課題や方法を明確にもたせるために、〇〇〇〇ノートにどんなことをどんな方法で追究していくか書かせた上で、個別に指導をし、主体的な追究活動の場を設定する。
- 自分の活動を振り返り、よりよいものにするために追究活動の中間交流会を設け、自分と友だちの考えを比べて考えたりよさを取り入れたりする。その際、〇〇の農業が続いていることの背景には、農業に携わっている人の思いや願い、地域の人への支えがあることに目を向ける工夫をする。
- 〇〇〇〇学習の学習過程を意識付けるために、〇〇〇〇学習の流れを書いた掲示物と学習の足あとが分かる掲示物を見て、いつも学習の進捗を確認する場を設定する。

(2) 人と関わる力を育てるために

- 毎時間の終わりに、〇〇〇〇ノートに、自分の学習への取組の振り返りをしたり、お互いのがんばりを認め合ったりする場を設定する。
- 「〇〇の農業はどうして100年以上も続いてきたのだろうか。」という課題に対する自分の考えの深まりを実感し、友だちの考えに学べるよさに気付くために、学習の節目に自分の考えと取組の振り返りをしたり、友だち同士で交流したりする。
- 自分の取組や自分の考えの広がりや深まり、自分の成長などの価値に気付かせるために、相互評価や地域・家庭からの評価を受ける場を設定する。
- 国語の学習や〇〇タイムなどでの「聞くこと・話すこと」に関する既習を活用する。
- 「〇〇〇〇学習の手引き」をもとに活動をする前に繰り返し学習をし、コミュニケーションのスキルを身につけた上で実際の活動を行うようにする。

3 単元目標

- 「〇〇の農業はどうして100年以上も続いてきたのだろうか。」という学習課題を設定し、課題解決するためには、生産者・販売者・消費者・歴史の観点から追究すればよいのではないだろうかという見通しから計画を立て、主体的に追究し、自分の考えを相手や目的に応じて伝えることができる。**【問題解決力】**
- 「〇〇の農業」への追究を通して友だちや地域の人との関わりを広げ、深めるとともに、人や自分の見方・考え方の変容に気付くことができる。**【人と関わる力】**
- 〇〇の農業を大切にしてきた地域の人に積極的に関わり、安全で安心できる野菜を提供したい、軟弱野菜の伝統を守りたいという農業に携わる人や〇〇の野菜を販売している人たちの思いや願いにふれる中で、〇〇の「まち」に愛着をもつことができる。

【地域への見方・考え方】

4 単元計画(42時間)

過程	学習活動と内容 (配時)	手 だ て	評価規準
<p>はっけんする (13時間)</p>	<p>1 校区のお店で〇〇近郊の野菜が売られている様子の見学や、野菜が作られている畑のフィールドワークを通して、地域の農業の様子を知り、学習課題を作る。⑧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〇〇ストアの庭先野菜の販売 ・水耕栽培と畑 	<ul style="list-style-type: none"> ○ SS地域(工場)との違いに気が付くようなフィールドワークの場を設定する。 ○ 野菜を作っている人や売っている人に事前に話す内容の打ち合わせをしておく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 〇〇近郊の農業に興味・関心をもち、農業の様子をつかむことができる。 ○ 話し合いの中から、学習課題をとらえることができる。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>〇〇の農業はどうして100年以上も続いてきているのだろう。</p> </div> <p>2 学習課題に対する予想を立て課題を設定し、計画を立てる。</p> <p>(1) 予想を立てる。②</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>予想される考え</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野菜に秘密があるのでは。 ・作っている人の思いや願いがあるから。 ・〇〇の農業を守り続けていきたい人がいるのでは。 </div> <p>(2) 追究グループをつくり、課題解決の計画を立てる。③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産者、消費者、販売者、歴史の立場 ・グループの課題、目的、方法、日時、場所、連絡、注意事項 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ビデオ「KKさんのインタビュー」を想起させ、〇〇の農業のよさに目を向けるように、内容を整理する。 ○ 学習課題に対しての考えの変容が分かるような〇〇〇〇ノートを準備する。 ○ 見通しをもって計画を立てるために、〇〇の工業での学習の振り返りをする。 ○ 自分の課題をはっきりとものつことができるように、個別に助言する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ これまでの学習をもとに、自分の予想を立てることができる。 ○ 追究のための計画を立てることができる。
<p>こだわる (9時間)</p>	<p>3 課題をもとに、グループに分かれて追究する。</p> <p>(1) グループごとに追究活動をする。④</p> <p>(2) 中間交流会をし自分たちの追究活動を見直す。②</p> <p>(3) 見直したことをもとに、再度追究活動をする。③</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 追究の内容や態度を見取り個別に助言する。 ○ 交流会のグループ構成や場の設定を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 交流会を通して、自分たちの追究を見直すことができる。 ○ 地域の人の思いや願いに気付くことができる。
<p>まとめる (5時間)</p>	<p>4 〇〇の農業について追究したことをもとに、学習課題について話し合う。</p> <p>(1) グループで追究のまとめをする。④</p> <p>(2) それぞれの立場から考えを交流し、学習問題の答えをまとめる。①</p> <p style="text-align: right;">【3組 本時】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ まとめた後、交流活動がしやすいような大きさの紙を準備する。 ○ グループの見取りをし、内容が整理されているか、助言する。 ○ 考えの交流に深まりがでるような資料を準備する。 ○ 考えの整理ができるような板書をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 追究したことを整理し、まとめることができる。 ○ 学習課題に対する自分の考えをもつことができる。

おいしくて安全な野菜を食べてほしい、また〇〇の農業の伝統を守り受けついでいこうという野菜を作っている人の思いや願いがあるから100年以上続いてきた。

つたえる
(15時間)

5 〇〇の農業に対して自分たちができていることを考え、計画し準備する。

(1) 自分たちにできることを計画する。 ②

予想される内容

- ・野菜の宣伝
- ・軟弱野菜の産地であることの紹介
- ・〇〇の農業を支えている人の紹介

予想される方法

- ・パンフレット
- ・ポスター
- ・チラシ
- ・パッケージ
- ・野菜コーナー作り など

(2) 交流会をし自分たちの計画を見直す。 ②

【1組 本時】

(3) 見直したことをもとに、計画に沿って準備する。 ③

6 自分や自分たちの活動の評価をし、地域への見方・考え方を深める。

(1) ワークショップを開き、管松の農業について調べたことや考えたことを伝える。 ②

- ・4年生へ (1, 3組)
- ・地域の人, 保護者へ (2組)

【2組 本時】

(2) 〇〇の農業に対して自分たちにできることを実行する。 ⑤

(3) 自分や自分たちの活動を振り返る。 ①

期待する考え

- ・〇〇の農業はすごいな。
- ・〇〇はいろいろな産業があって自慢できる町だな。
- ・〇〇の伝統を守りたいな。

○ これまでの「つたえる」過程での経験を想起するような資料を提示する。

○ 〇〇の野菜作りについて調べたことやまとめたことを多くの人たちに伝える方法の一端を紹介する。

○ 伝えるものを作成する視点を与える。

〈計画作成のポイント〉

- ①〇〇の農業のよさを伝えている
- ②作っている人の思いや願いが込められている
- ③わかりやすい(レイアウト等)

○ 交流の目的が達成されるように、交流会のグループ構成を工夫したり、交流後の見直しの時間を設定したりする。

○ 活動時間を保障し、内容や態度を見取り、個別に助言する。

○ 分かりやすい発表ができるように、教室を2つ準備し、発表する場を確保する。

○ 達成感を味わわせるために、追究活動に関わった人たちなどから評価をもらう場を設定する。

○ 〇〇〇〇ノートや掲示物から、学習の振り返りをし、自己評価・相互評価の場を設定する。

○ 自分たちにできることを考えることができる。

○ 交流会を通して自分たちの計画を見直すことができる。

○ 計画に沿って準備することができる。

○ 自分たちにできることについて、内容や思いをわかりやすく発表することができる。

○ 自分たちにできることを実行に移すことができる。

○ 自分たちの活動の評価をすることができる。

第5学年〇組本時指導案

1 本時 (31/42)

2 本時の目標

- 「自分たちにできること」の計画を他のグループと交流することで、自分たちの考えた計画のよさや他のグループのよさに気づき、自分たちの計画を見直すことができる。

3 本時指導の考え方

本時までには子どもたちは、〇〇の農業について生産者・消費者・販売者・歴史の観点で〇〇の農業のよさについて追究活動をしてきている。その追究したことをもとに〇〇の農業が100年以上も続いてきた理由について考え、話し合ってきている。その中で農業に携わる人の「おいしいものを、安全なものを食べて欲しい」「〇〇の農業の伝統を守り受け継いで欲しい」という思いや願いを感じ取っている。また、自分たちにできることを考え様々な方法（パンフレット・パッケージ・チラシ・野菜売場のコーナー作り等）で地域の人に〇〇の農業のよさについて広めようと計画をしてきている。

本時は、その計画を他のグループと交流することで、自分たちの考えた計画を見直すことをねらいとしている。

まず、前時に自分たちにできることを計画したことを想起し、本時は他のグループとの交流活動を通して自分たちの計画を見直すことを確認する。次に、交流会の進め方を確認し交流グループに分かれ交流会を行なう。最後に、自分たちのグループに戻り交流会の報告を行い自分たちの計画を見直す。

そこで本時の交流活動にあたっては、次のような手だてをとりたい。

- ア 話し合いが効率的に進むように、パンフレットやパッケージ、チラシなどの作品を提示し、「なぜこんな表現にしたか」を説明するという話し方の手順を示す。
- イ 「計画作成のポイント」の観点①〇〇の農業のよさが伝わるものか、②農業に携わっている人の思いや願いが伝わるものか、③わかりやすいものか、でよさを見つけるようにする。また、話し合いや見直しの観点がずれないように、またいつでも振り返られるように、「計画作成のポイント」を掲示しておく。
- ウ 自信をもって自分たちのグループの考えを相手に説明できるように、練習の時間を十分に確保する。
- エ 互いのよさに気づき合い、より深まりのある交流になるように、できるだけ同じ方法の交流グループにする。
- オ 意見が出しやすいように、また責任を持って話し合えるように3～4人の少人数の交流グループ編成にする。

4 準備

- 【教師】 交流会の進め方、計画作成のポイント、今までの学習の流れの跡が分かる掲示物、
〇〇〇〇ノート
- 【児童】 総合ファイル、計画書（作品）

5 展 開

学 習 活 動 と 内 容	支 援
<p>1 これまでの学習を振り返り、本時めあてを確かめる。</p>	<p>○ これまでの学習を振り返らせるために、掲示物を指しながら話す。</p>
<p>交流会をし、自分たちの計画を見直そう。</p>	
<p>2 交流会の進め方や留意点を確かめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 交流会の進め方 ○ 話す・聞くポイント <ul style="list-style-type: none"> ・ 作品を中心に説明する。 ・ 「よさが伝わるもの」「思いや願いが伝わるもの」「わかりやすいもの」の観点でよさを見つける。 <p>3 交流グループになり、他のグループと考えた計画を交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ パッケージ作りグループどうしでの交流 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 作っている人の思いが入っていていいなあ ・ 言葉が短くまとめてあってわかりやすい </div> ○ ポスターグループどうしでの交流 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 多くの人が見る所に貼るといい考えがいい ・ 作っている人の顔が分かって安心だね </div> 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 話し合いを効率よく進行させるために「交流会の進め方」を提示する。 <ul style="list-style-type: none"> ①説明する②質問を受ける③意見を聞く ○ 効率的な話し合いになるように、説明する側と聞く側それぞれのポイントを補足し、「計画作成のポイント」の観点を掲示しておく。 ○ より深まりのある交流ができるように、同じ方法のグループどうしで交流グループを編成し、話しやすいように少人数にする。 ○ 自信をもって説明できるように、作品や表現の意味を事前に見取りよく表現できている点を賞賛する。
<p>4 もとのグループに戻り、交流したことをもとに自分たちの計画を見直す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 評価された計画のよさを確かめ合う。 ○ 発見したよさを自分たちの計画に取り入れるかどうかについて話し合う。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;">期待する考え</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ わかりやすいと言われたよ。 ・ 置く場所を変えてみよう。 ・ もっと言葉を絞ってみよう。 ・ 写真を入れてみよう。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 効率よく話し合うために、「自分たちのよさ」と「発見したよさ」に分けて話し合うように、また「計画作成のポイント」に照らし合わせてひとつひとつ考えていくように助言する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0; text-align: center;"> <p>評価規準</p> <p>交流会を通して自分たちの計画を見直すことができる。</p> </div>
<p>5 今日の学習を振り返り、次の活動への意欲をもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 作品を完成させ、計画を実行に移す。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子どもたちが達成感を味わい、次時への意欲を持つように、振り返りカードを準備する。

第 5 学 年 ○ 組 本 時 指 導 案

1 本 時 (3 6 / 4 2)

2 本時の目標

- ○○の農業のよさを再認識するとともに、それらを家の人や地域の人に伝えることができる。

3 本時指導の考え方

本時までに子どもたちは、4つの観点、生産者、販売者、消費者、歴史、に分かれて追究し、追究してきたことをもとに、学習課題である「○○の農業はどのようにして100年以上も続いてきているのだろうか。」について話し合い考えをまとめてきている。その中で○○の農業のよさや歴史、農業に携わっている人たちの思いや願いに気付いてきている。そして、○○の農業のよさをたくさんの人に知ってもらうために自分たちにできることを考え、様々な方法（パンフレット・パッケージ・チラシ・ポスター・野菜売り場のコーナー作り等）で発信するための計画を終えている。

本時は、○○の農業のために、自分たちにできることや○○の農業について知ってもらいたいことをワークショップを通して、家の人や地域の人に発表することで、○○の農業について改めてよさや地域の人々の思いや願いなどを実感したり、達成感を味わったりすることをねらいとしている。

まず、全体でワークショップの進め方と発表のポイントを確認する。次にいろいろな立場のグループの発表が十分できるよう発表の場所を2カ所に分け、グループごとに○○の農業をどんな方法で伝えたいのか計画書や作品を使って発表する。最後に全体交流でお家の人や地域の人に評価していただいたことについて発表させ、次時への意欲につなぐ。

そこで本時の交流活動にあたっては、次のような手だてをとりたい。

- ア 自分たちのグループの考えを自信をもって発表できるように、事前に発表の仕方の練習の時間を十分に確保する。
- イ ワークショップがより活発になるように、また、子どもたちがワークショップを通して達成感を得るために、事前に参観の仕方や話の内容についてG Tや家の人と打合せをしておく。
- ウ 自分たちの考えを発表する際には、①だれに・どこで・どんな方法で伝えたいのか、②なぜこのように表現したのかを、計画書や作品、これまでの追究活動によりまとめた資料などを用いながら発表するよう助言する。
- エ 意欲的に発表できるように、聞く観点を記した「評価カード」を用意しておき、家の人や地域の人に評価してもらう場を設定する。
- オ 達成感を味わい、○○の農業に対する考え方を深めるために、家の人やG Tに感想をもらう場を設定する。

4 準 備

- 【教師】 ○○○○ノート、今までの学習の流れの跡が分かる掲示物、ワークショップの進め方、発表するポイント、評価カード
- 【児童】 総合ファイル、計画書および作品、これまでの追究活動によりまとめた資料

5 展 開

学 習 活 動 と 内 容	支 援
<p>1 これまでの学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。</p> <p>〇〇の農業について、自分たちが調べたことやできることをお家の人や地域の人に伝えよう。</p>	<p>〇 これまでの学習を振り返らせるために、教室の掲示物を指しながら話す。</p>
<p>2 ワークショップをする。</p> <p>〇 グループに分かれ発表する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>KKさんのネギグループ</p> <p>パッケージ</p> <p>私たちは、こんなパッケージを作ってはこまつの農業を伝えたいです。なぜ、このようなデザインにしたかという、KKさんはネギを育てるときに・・・</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>〇〇ストアグループ</p> <p>野菜コーナー</p> <p>ぼくたちは、こんな野菜コーナーを作って、〇〇ストアに来られたお客さんに〇〇の野菜をつたえていきたいと考えています。なぜ、こんなコーナーにしたかという・・・</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>おうちの人や地域の人に〇〇屋さんで売られている〇〇の野菜を伝えるためにチラシを作りました。なぜ、このようなチラシにしたかという・・・</p> <p>チラシ</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>ぼくたちはポスターを作りました。たくさんの人に〇〇の農業について知ってもらうために、JAに犯せてもらいたいと考えています。なぜ、このようなポスターにしたかという・・・</p> <p>ポスター</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>〇〇屋グループ</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>歴史グループ</p> </div> </div>	<p>〇 ワークショップの進め方や発表する際のポイントを子どもたちに明確にとらえさせるために、それらを書いた提示物を用意しておく。</p> <p>〇 ワークショップがより活発になるように、GTや家の人にそれぞれのグループに入っていく。</p> <p>〇 発表をする際には、わかりやすく伝えるために、計画書や作品などをもたせながら発表するよう助言しておく。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center; margin: 10px 0;"> <p>評価規準</p> <p>自分たちが調べたことやできることについて、資料を効果的に使って、相手に伝えることができる。</p> </div> <p>〇 発表をスムーズに進め、よりわかりやすくするために、発表の仕方の助言を行う。</p> <p>〇 自分たちの発表を意欲的に行わせるために、聞く観点を記した「評価カード」を用意しておく、家の人や地域の人に評価してもらう。</p> <p>〇 子どもたちが達成感を味わったり、次時への意欲を高めたりするために、事前に家の人やGTと賞賛の立場で話をしてもらうように打ち合わせをしておく。</p> <p>〇 子どもたちの達成感や次時への意欲をもてるように、振り返りカードを準備する。</p>
<p>3 感想を交流する。</p> <p>〇 子どもたちの感想</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;">期待する考え</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よくできていると褒められてうれしかった。 ・早く作品を作りたい。 </div> <p>〇 お家の人感想、GTの感想</p> <p>4 今日の学習を振り返り、次の活動への意欲をもつ。</p>	

第5学年〇組本時指導案

1 本時 (27/42)

2 本時の目標

- 学習課題「〇〇の農業はどうして100年以上も続いてきたのだろう。」について考えを交流し、考えをまとめることができる。

3 本時指導の考え方

本時までには子どもたちは、生産者・消費者・販売者・歴史の観点で〇〇の農業のよさについて追究活動をしてきている。また追究したことをグループごとにまとめ、お互いに内容を交流している。その中で、〇〇は、軟弱野菜の日本三大産地の一つであること、その伝統が守られてきたこと、野菜の国内生産の減少に少しでも歯止めをかけたいこと、安全で安心な野菜を届けたいこと、これからも伝統を守ってほしいことなどの思いや願いを捉えてきている。しかしその捉えた内容が、グループや個人によって差があり、断片的である。

本時は学習課題「〇〇の農業はどうして100年以上も続いてきているのだろう。」に対する自分の考えを伝え合うことを通して、一人一人が〇〇の農業を守ってきた人の様々な思いや願いに気づき、考えをまとめることをねらいとしている。そして〇〇の農業は、他の地域にない〇〇ならではのよさがあり、〇〇の工業と合わせて、〇〇の自慢であることを感じとらせたい。

まず、〇〇〇〇ノートに書いている課題に対する自分の考えを見直しする。次に、一人ひとりの考えの交流をする。発表の仕方は相互指名にし、意見を4つの立場から整理して、〇〇の農業に携わる人の熱意と努力に考えをまとめる。さらに、GTの話から伝える過程への意欲を高める。

そこで本時の交流活動にあたっては、次のような手だてをとりたい。

ア 「〇〇〇〇ノート」には、課題に対する自分の考えの変容が分かるような工夫をしておく。

〇〇〇〇ノートは事前にチェックしておき、一人一人の考えを把握して、交流の際に使いやすいように記入して持っておく。また自分の考えに自信を持って発表することができるように、励ましやアドバイスのコメントを入れておく。

イ 〇〇の農業が他の地域にないよさをもっていること、それが100年以上も続いてきたわけでもあり、また受け継いできた人の熱意が支えていることが分かるような、板書の工夫をする。

ウ HH地区は、10年前に水害による被害を受けたが、それでも畑を作り直して、農業を続けてきたことや、水害にも負けなかった農家の人の思いや願いを感じとれるような資料を提示する。

エ 今までの学習で関わった人をGTとして招き、学習の終わりにこれまでの追究の成果を評価し、賞賛するような感想を述べてもらい、「〇〇の農業を他の人に知らせることの一端を担ってほしい。」ことを伝えてもらうよう打ち合わせをしておく。

4 準備

- 【教師】 〇〇〇〇ノート、交流会の進め方、今までの学習の流れの跡が分かる掲示物
- 【児童】 総合ファイル、これまでの追究活動によりまとめた資料

5 展 開

学 習 活 動 と 内 容	支 援
<p>1 本時のめあてをつかむ。</p> <p>○ これまでの学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。</p>	<p>○ これまでの学習を振り返らせるために、教室の掲示物を指しながら話す。</p> <p>○ 話し合いへの意欲を高めるために、GTの紹介をする。</p>
<p>どうして〇〇の農業が100年以上も続いてきたのか、そのわけについて追究したことをもとに考えをまとめよう。</p>	
<p>2 〇〇〇〇ノートに書いていることをもとに話し合う。</p> <p>・軟弱野菜の三大産地であることの伝統を守る気持ちを強くもっていたから。</p> <p>・農業に携わる人が地域の人に〇〇の野菜を食べてほしい、作り手の顔が見える安心できる野菜を食べてほしいと思ってきたから。</p> <p>・買う人は、作り手の分かる〇〇の野菜を望んでいて、進んで買う人が多いから。</p> <p>・〇〇の土地は砂地であり、軟弱野菜を作ることに適しているから。</p> <p>TTさんの畑は10年前の水害の際に腰のあたりまで、水に浸かった。水が引いても、塩害は残り、地質の改良にこの10年間取り組んできた。畑を絶やしたくない気持ちで続けてきた。</p>	<p>○ 話し合いが深まるように、追究のグループごとに集まっておく。</p> <p>○ 自分の意見を述べる時は、話がより具体的になるように、まず自分の考えを言って、資料等を使って根拠を述べるようにする。</p> <p>○ 意見が出ない時や発言する自信の無い子どもに対しては、見取り表をもとに、教師側から指名して、意見を引き出すようにする。</p> <p>○ 地域の人々の熱意の強さや生産者の努力に着目するために、板書で意見を整理する。</p> <p>○ 熱意と努力を強調するために、10年前の水害でHH地区が被害にあったことの資料を提示する。</p>
<p>3 〇〇〇〇ノートに課題に対する自分の考えを書く。</p> <p>○ 書いたことを発表する。</p> <p>期待する考え</p> <p>伝統を守りたいという気持ちと農業に対する熱意で農業が続いてきている。</p>	<p style="text-align: center;">評価規準</p> <p>自分の考えと友だちの考えを比べたり、つないだりしながら、課題に対する自分の考えをもつことができる。</p>
<p>4 GTの話聞く。</p>	<p>○ 話の内容から学習の達成感を持ち、次の活動への意欲が高まるように、話の内容をGTと打ち合わせをしておく。</p>
<p>5 振り返りカードを書く。</p>	<p>○ 交流活動の成果を実感させ、次時への意欲をもたせるための振り返りカードを準備する。</p>